



日本離床学会
教育講座

講座コード/R-37

その使い方、本当にありますか？

脳卒中患者の機能再建に向けた 装具療法の考え方



日時：2023年 **12月9日(土)** 10:00～16:10

会場：インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間 2週間有り

講師：森川 明 先生(第二東和会病院)

対象：PT・OT・ST・看護師(左記以外でも受講可) ※永久保存版 PDFスライド資料付

受講料：会員 9,800 円 一般 12,800 円(税込)

新入会 会費無料



装具の“モヤモヤ”を解決する秘訣とは？

「脳卒中の患者さんに装具を使えば、スムーズにリハが進む」そんなことはわかっているけれど、実際の現場では「いつ作るのかわからない」「出来上がってそのまま使用」と問題が山積み・・・そんな悩みをもつあなたには「ちょっとワガママになること」がオススメ。装具はもちろん患者さんのために作られるけれども、セラピストにとっても介助量が減らせて、効果的にアプローチできるという大きなメリットがあるのです。この講座では、長年、装具と向き合ってきたベテラン講師が、患者さんのためになって、自分も楽に介入できる装具使用のポイントを1日にキュッとまとめて解説します。患者さんも、あなたもお互いWin-Winになれるこの講座を受けて、自分のアプローチを変えてみませんか？



Point!

「なんとなく」使っていた自分にもうサヨナラ 装具のスペシャリストから学ぶお悩み解決ポイント



Lesson 1 まずはここをおさえよう！

① 脳卒中患者に対する装具療法の基礎

- ・装具を使うとこんなにも変わる!「第3の手」としての考え方
- ・それを使って安全ですか? 同じ備品装具を使うことの功罪

Lesson 2 脳画像とリンクした運動障害と

② 装具選択の実際

- ・いつから使えばいいの?
病態から考える装具処方の適切な時期
- ・脳画像と麻痺のレベルで一発選択!
フローチャートを用いた装具の選択
- ・こんな場合はどんな装具を作ればいいのか?
麻痺が強い・筋協調性が悪い・痙性が強い ほか

Lesson 3 ベテランがコツを伝授!

③ 装具フィッティングのコツはここだ

- ・皮膚・痛み・装着感の評価
～プラスチック・金属支柱別にみたトラブル対応策
- ・アライメントはここを見よう!
股関節を伸展位に保つことの重要性
- ・出来上がってそのままはダメ!
ひと手間だけでガラリと変わる調整ポイント
- ・何度やっても緩んじゅう・・・
そんな時の対応力がメキメキあがる裏技とは?



Lesson 4 機能回復を促そう!

④ 脳卒中急性期におけるアプローチの実際

- ・発症2日目に装具を作る!?
～残存機能を最大限に活かした介入の考え方～
- ・急性期から適切な装具を作る秘訣
～何でこんな作ったの!?!と後で言われないために～

Lesson 5 ここが腕の見せどころ!

⑤ 回復期・生活期における指導のポイント

- ・脳卒中患者における姿勢制御の理解
～歩行時にはここに介入すべき!～
- ・装着時の歩容のみかた
～短下肢装具/長下肢装具別にみた観察の視点～
- ・この動作をみて判断!
装具の制限解除とカットダウンのタイミング



Lesson 6

⑥ よくある臨床お悩み集

- ・看護師さんにどう協力してもらう?
病棟ケアにおける装具の活かし方
- ・装具をつけるとかえって動きが悪くなる ほか



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論系 1 単位を取得できます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 ブラーレルビル 2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

